

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	2031年4月25日まで（2011年6月17日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、安定した収益の確保を目指して運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	マネー・プール マザーファンド 受益証券
	マザーファンド	わが国の公社債
運用方法	わが国の公社債を中心に投資し、常時適正な流動性を保持するように配慮します。	
主な組入制限	ベビーファンド	・マザーファンドへの投資割合は、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資は行いません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎年4月25日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	
	分配金額の決定にあたっては、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）	

運用報告書（全体版）

マネー・プール・ファンドⅥ



第15期（決算日：2026年4月27日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに謹んで運用経過等をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしく
お願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先	
お客さま専用 フリーダイヤル	0120-151034 （受付時間：営業日の9:00～17:00、 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。	

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落 中 率					
	円			円		%		%	百万円
11期(2022年4月25日)	9,996			0		△0.0	—	—	39
12期(2023年4月25日)	9,992			0		△0.0	—	—	36
13期(2024年4月25日)	9,991			0		△0.0	74.7	—	21
14期(2025年4月25日)	10,009			0		0.2	66.3	—	10
15期(2026年4月27日)	10,058			0		0.5	66.6	—	41

- (注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
- (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率
		騰 落	率				
(期 首)	円		%		%		%
2025年4月25日	10,009	—	—	66.3	—	—	—
4月末	10,009	0.0	66.3	—	—	—	—
5月末	10,013	0.0	76.9	—	—	—	—
6月末	10,016	0.1	53.0	—	—	—	—
7月末	10,020	0.1	61.0	—	—	—	—
8月末	10,022	0.1	57.8	—	—	—	—
9月末	10,026	0.2	58.1	—	—	—	—
10月末	10,029	0.2	53.5	—	—	—	—
11月末	10,033	0.2	53.7	—	—	—	—
12月末	10,037	0.3	68.0	—	—	—	—
2026年1月末	10,042	0.3	60.4	—	—	—	—
2月末	10,047	0.4	54.4	—	—	—	—
3月末	10,053	0.4	66.7	—	—	—	—
(期 末)							
2026年4月27日	10,058	0.5	66.6	—	—	—	—

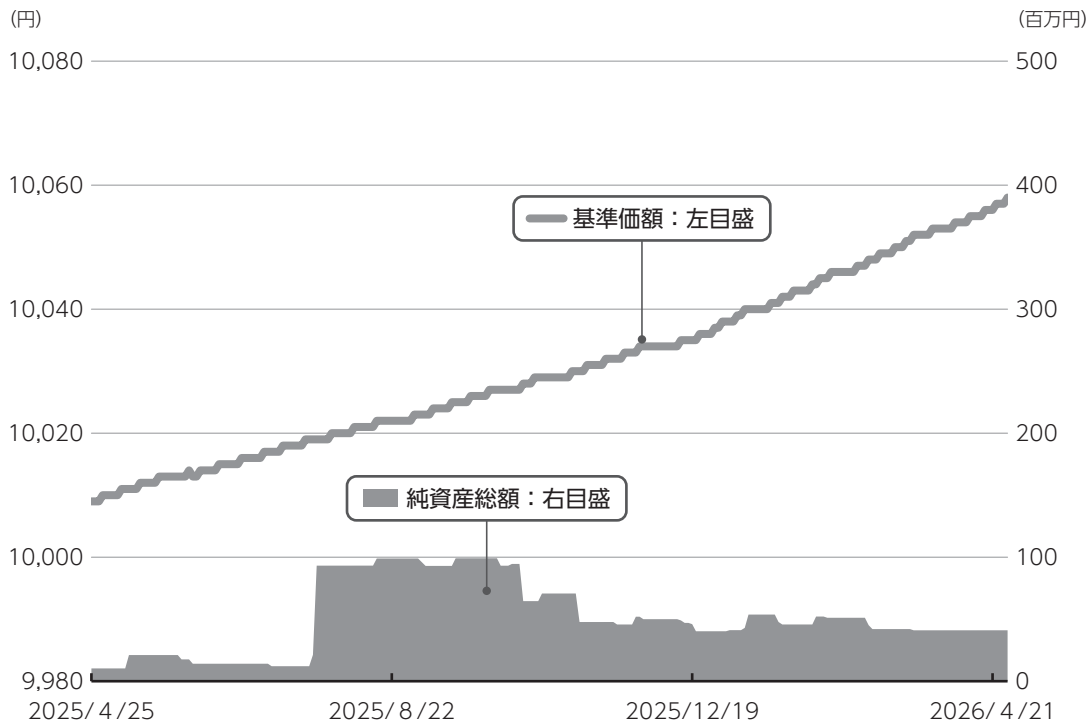
- (注) 騰落率は期首比。
- (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第15期：2025年4月26日～2026年4月27日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第 15 期 首 10,009円

第 15 期 末 10,058円

既払分配金 0円

騰 落 率 0.5%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ0.5%の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因**上昇要因**

利子等収益が積み上がったことが基準価額の上昇要因となりました。

第15期：2025年4月26日～2026年4月27日

▶ 投資環境について

▶ 国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は、プラス圏での推移となりました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ マネー・プール・ファンドⅥ

期間を通じて、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資比率を高位に維持しました。

▶ マネー・プール マザーファンド

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第15期 2025年4月26日～2026年4月27日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	153

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ マネー・プール・ファンドⅥ

マネー・プール マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち、マザーファンドのポートフォリオの構成に近づけた状態を維持する方針です。

▶ マネー・プール マザーファンド

日銀による金融市場調節方針の下、短期金利は安定した推移を想定しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

2025年4月26日～2026年4月27日

1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a)信 託 報 酬	9	0.090	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（期中の日数÷年間日数）
（ 投 信 会 社 ）	(4)	(0.042)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(4)	(0.042)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.006)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)そ の 他 費 用	0	0.002	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	9	0.092	

期中の平均基準価額は、10,030円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

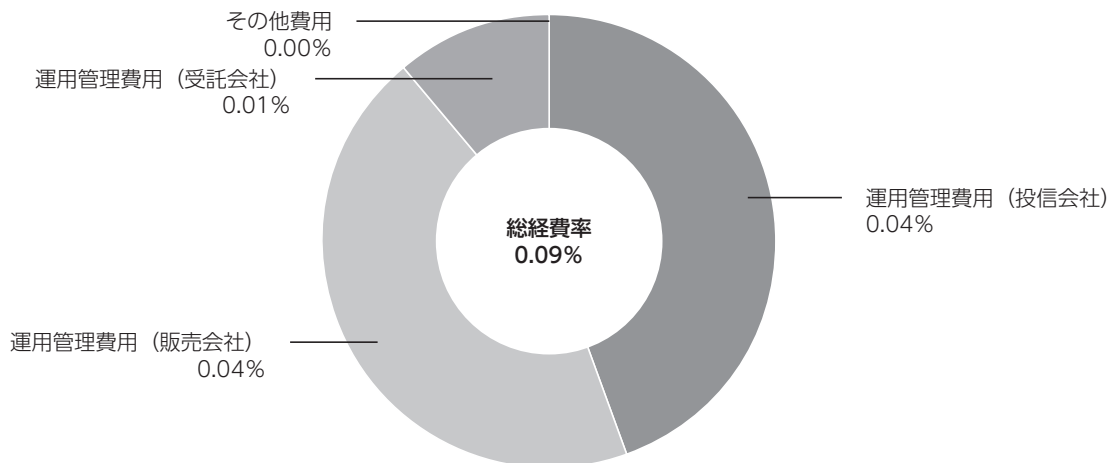
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.09%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年4月26日～2026年4月27日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
マナー・プール マザーファンド	133,713	134,737	103,980	104,871

○利害関係人との取引状況等

(2025年4月26日～2026年4月27日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2025年4月26日～2026年4月27日)

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円 1	百万円 —	百万円 —	百万円 1	商品性を適正に維持するための取得

○組入資産の明細

(2026年4月27日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
マナー・プール マザーファンド	10,044	39,777	40,243

○投資信託財産の構成

(2026年4月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
マナー・プール マザーファンド	40,243	97.9
コール・ローン等、その他	847	2.1
投資信託財産総額	41,090	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年4月27日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	41,090,830
コール・ローン等	847,504
マネー・プール マザーファンド(評価額)	40,243,310
未収利息	16
(B) 負債	26,138
未払信託報酬	25,667
その他未払費用	471
(C) 純資産総額(A－B)	41,064,692
元本	40,829,223
次期繰越損益金	235,469
(D) 受益権総口数	40,829,223口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,058円

<注記事項>

- ①期首元本額 10,301,747円
 期中追加設定元本額 137,086,429円
 期中一部解約元本額 106,558,953円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0058円です。

②分配金の計算過程

項 目	2025年4月26日～ 2026年4月27日
費用控除後の配当等収益額	174,524円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	449,175円
分配準備積立金額	1,800円
当ファンドの分配対象収益額	625,499円
1万口当たり収益分配対象額	153円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

*三菱UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お 知 ら せ】

投資信託約款に記載された「一般社団法人投資信託協会」を、「一般社団法人資産運用業協会」に記載変更を行いました。
 一般社団法人資産運用業協会設立準備法人を吸収合併存続法人、一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会を吸収合併消滅法人として2026年4月1日付で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更することとなったため、投資信託約款に所要の変更を行いました。
 (2026年4月1日)

○損益の状況 (2025年4月26日～2026年4月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	5,892
受取利息	5,892
(B) 有価証券売買損益	161,442
売買益	280,025
売買損	△118,583
(C) 信託報酬等	△ 46,237
(D) 当期損益金(A+B+C)	121,097
(E) 前期繰越損益金	1,175
(F) 追加信託差損益金	113,197
(配当等相当額)	(435,364)
(売買損益相当額)	(△322,167)
(G) 計(D+E+F)	235,469
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	235,469
追加信託差損益金	113,197
(配当等相当額)	(449,175)
(売買損益相当額)	(△335,978)
分配準備積立金	176,324
繰越損益金	△ 54,052

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

マネー・プール マザーファンド

《第33期》決算日2026年 1 月14日

[計算期間：2025年 7 月15日～2026年 1 月14日]

「マネー・プール マザーファンド」は、1 月14日に第33期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第33期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	わが国の公社債
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落 中 率			
	円	%	%	%	百万円
29期(2024年 1 月15日)	10, 034	△0. 0	—	—	52
30期(2024年 7 月16日)	10, 038	0. 0	73. 4	—	27
31期(2025年 1 月14日)	10, 048	0. 1	80. 9	—	24
32期(2025年 7 月14日)	10, 070	0. 2	60. 5	—	16
33期(2026年 1 月14日)	10, 096	0. 3	65. 4	—	45

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率		
(期 首)	円	%	%	%
2025年 7 月14日	10, 070	—	60. 5	—
7 月末	10, 073	0. 0	62. 3	—
8 月末	10, 076	0. 1	59. 0	—
9 月末	10, 080	0. 1	59. 2	—
10月末	10, 084	0. 1	54. 6	—
11月末	10, 088	0. 2	54. 8	—
12月末	10, 093	0. 2	69. 3	—
(期 末)				
2026年 1 月14日	10, 096	0. 3	65. 4	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

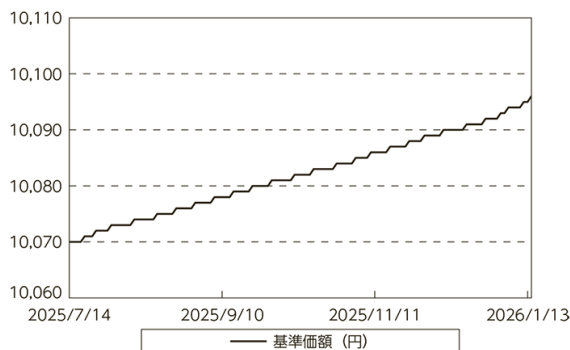
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ0.3%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

利子等収益が積み上がったことが基準価額の上昇要因となりました。

●投資環境について

◎国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は、プラス圏での推移となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

○今後の運用方針

日銀による金融市場調節方針の下、短期金利は安定した推移を想定しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年 7 月15日～2026年 1 月14日)

該当事項はございません。

○ 売買及び取引の状況

(2025年 7 月15日～2026年 1 月14日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 5,309,206	千円 5,289,493

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○ 利害関係人との取引状況等

(2025年 7 月15日～2026年 1 月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年1月14日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末				残存期間別組入比率		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	30,000	29,809	65.4	—	—	—	65.4
	(30,000)	(29,809)	(65.4)	(—)	(—)	(—)	(65.4)
合 計	30,000	29,809	65.4	—	—	—	65.4
	(30,000)	(29,809)	(65.4)	(—)	(—)	(—)	(65.4)

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第1338回国庫短期証券※	—	30,000	29,809	—
合 計		30,000	29,809	

(注) ※印は現先で保有している債券です。

○投資信託財産の構成

(2026年1月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 29,809	% 65.4
コール・ローン等、その他	15,744	34.6
投資信託財産総額	45,553	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年1月14日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	45,553,559
コール・ローン等	15,743,752
公社債(評価額)	29,809,500
未収利息	307
(B) 負債	3,059
未払解約金	3,059
(C) 純資産総額(A－B)	45,550,500
元本	45,118,688
次期繰越損益金	431,812
(D) 受益権総口数	45,118,688口
1万口当たり基準価額(C／D)	10,096円

<注記事項>

- ①期首元本額 16,414,963円
 期中追加設定元本額 106,574,292円
 期中一部解約元本額 77,870,567円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0096円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

マナー・プール・ファンドVI	41,730,542円
トレンド・アロケーション・オープン	997,308円
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型)為替ヘッジあり	996,215円
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型)為替ヘッジなし	996,215円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型)為替ヘッジなしコース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型)円コース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型)インド・ルビーコース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型)インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	99,602円
合計	45,118,688円

○損益の状況 (2025年7月15日～2026年1月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	172,564
受取利息	172,564
(B) 当期損益金(A)	172,564
(C) 前期繰越損益金	115,035
(D) 追加信託差損益金	796,149
(E) 解約差損益金	△651,936
(F) 計(B＋C＋D＋E)	431,812
次期繰越損益金(F)	431,812

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。